

&lt;日時&gt;

**2017年****12月9日(土)****12:30~17:00**

&lt;会場&gt;

龍谷大学 瀬田キャンパス(8号館1階)

- 所在地:滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5  
- JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分  
- 京阪本線「中書島」駅下車、京阪京都バス約30分
- 電話: 077-543-7746

定員: 200名

参加費: 無料

## 日本の伝統文化と 社会を支えてきた柿渋 - その新たなる展開 -

### 講演内容:

- 12:30-13:00 展示会见学  
13:00-13:15 主催者の挨拶 研究会会長および食と農の総合研究所 所長
- 13:15-14:00  
第1話 渋柿と甘柿の違い - 甘柿はなぜ渋くないのか? -  
龍谷大学農学部教授 米森 敬三
- 14:00-14:45  
第2話 温故知新の多機能天然資材: 柿渋の歴史と未来  
奈良県農業研究開発センター 濱崎 貞弘
- 14:45-15:30 展示会见学 & 意見交換
- 15:30-16:15  
第3話 柿渋の科学と実用的利用への道  
柿渋・カキタンニン研究会会長 松尾 友明
- 16:15-17:00 総合討論  
17:00-19:00 懇親会



お問合せ&amp;申込み先



- 柿渋・カキタンニン研究会 ホームページから【メニュー:講演会などお申込み】  
<http://kakishibu.tannin.info/>
  - Eメール [kaki@tannin.info](mailto:kaki@tannin.info) ● Fax 0774(73)0673 (薬膳レストランあわさい)
- ※ 【12月9日講演会申込み】と題し、お名前・電話・所属・Eメールをご記載下さい。  
※ 資料準備のため、できるだけ12月6日(水)までにお申し込みください!

主催: 柿渋・カキタンニン研究会  
共催: 龍谷大学 食と農の総合研究所

# 市民講演会及び柿渋大展示会